

## JIS A 5308、JIS Q 1011 改正のお知らせ



2024年3月21日に、JIS A 5308: 2024レディーミクストコンクリート及びJIS Q 1011: 2024適合性評価—日本産業規格への適合性の認証—分野別認証指針(レディーミクストコンクリート)が公示されました。両規格ともに前回の改正の2019年以来的の改正です。

JIS A 5308の改正の主旨は、環境負荷の低減の推進、検査方法の合理化及び省力化の推進、デジタル化の推進、副産物の有効利用、戻りコンクリートの適切な取り扱い等です。JIS Q 1011においては、JIS A 5308の改正内容に合わせるとともに、電磁的記録の推進、製品管理、原材料管理、製造工程管理、及び設備管理の規定の見直しがされています。普通コンクリートのスランブ10cmの削除、配合計画書、納入書の様式の改正等があり、JIS A 5308の認証工場の全ての工場に該当する項目が改正されています。

JIS A 5308の認証工場におきましては、改正内容を確認の上、社内規格等の変更がある場合には、移行期限の2024年9月20日までに弊社JIS認証部に変更届を提出してください。本件に関するお問い合わせは、JIS認証部(TEL:03-4510-2753)までお願いいたします。

## 三優ライト工業様、エイエルアイ様、「東大阪モノづくり大賞」受賞

東大阪商工会議所が、市内中小企業を対象に、優れた新製品・新技術の開発で成長著しい企業を表彰する「東大阪モノづくり大賞」の銀・銅賞を弊社のお客様がそれぞれ受賞されました。

東大阪市は全国でも有数の「モノづくりのまち」として知られ、地域産業活性化を目的に1998年から実施されている同賞は今回で26回目を数えます。これまでの受賞企業に弊社のお客様も多くあり、モノづくりの発展に貢献されています。今回受賞のお客様2社をご紹介します。

### ●銀賞—三優ライト工業株式会社 様 (<https://www.3yuraito.co.jp/>)

創業78年を迎えられたプラスチック成型品メーカーで、自転車部品を中心に電子機器などの精密部品を製作され、近年では新たな事業として、自社ブランドの知育玩具「Poco a poco」も手掛けられています。樹脂加工メーカーならではの視点で生み出された人にも環境にも優しい、もみ殻が主原料の玩具は、社名の「三優」に掛け、「環境に優しく、心に優しく寄り添う、優れた商品」をコンセプトに開発され、「大阪ものづくり優良企業賞2022」も受賞されています。ISO 9001に加え、今年はISO 14001の導入も予定されており、持続可能なものづくりにも積極的に取り組まれています。



### ●銅賞—株式会社エイエルアイ 様 (<https://ali2016.jp/>)

アルミニウムに特化した高精度精密部品加工メーカーで、社名の「エイエルアイ(ALi)」には、「アルミに注ぐ愛情と、常に働きアリのようにストイックに、そして何よりも大切であるお客様への感謝の気持ちを大切にしたい」との思いが込められています。2016年創業の若い会社ながら、高精度・高精密の専門加工技術により半導体関連で高い認知度を誇り、小回りかつ短納期での強みも活かして業績を伸ばされています。「大阪ものづくり優良企業賞2021」も受賞され、社内体制の確立に向けて、今年ISO 9001を認証取得されました。現在、新工場も稼働し、創業当初から計画していた「2工場20台体制」を完成させ、生産性も強化されています。三優ライト工業様、エイエルアイ様の今後のさらなるご活躍をお祈りいたします。

## INFORMATION

～規格関連情報～

### 気候変動を配慮したマネジメントシステム規格の改正について (追補版発行)

～ISOマネジメントシステム規格に「気候変動への配慮」を追加する改正が行われました～

#### ◆気候変動を配慮することになった背景

2015年国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)で採択されたパリ協定では気温上昇を抑制することを目標といたしました。ISO(国際標準化機構)は、この目標を達成することを支援するために気候変動調査の結果に沿って規格へ反映することを決定しました。

IAF(国際認定フォーラム)とISOは、マネジメントシステム規格(MSS: Management System Standards)の追補について共同声明を発表し、MSの組織の状況において考慮すべき事項として気候変動の重要性を強調する2つの新しい記述を導入いたしました。

#### ◆2つの新しい記述

##### 4.1 組織及びその状況の理解

追補)組織は気候変動が関連する課題であるかどうかを決定しなければならない。(仮訳文)

##### 4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解

追補)注記:関係する利害関係者は気候変動に関連する要求事項をもつことができる。(仮訳文)

ISO 9001:2015、ISO 14001:2015、ISO 45001:2018、ISO/IEC 27001:2022をはじめ、多くの既存のMSSに追加され、2024年2月23日、開発及び改訂中のすべての現行及び新規のMSSに含まれることになりました。

弊社では、認定機関(UKAS)の指令に従い、審査の際にはお客様が内部及び外部の課題に気候変動の影響を含めて検討/判断し、関連する場合はその改善や有効性を考慮しているかどうかについて、これらに関連する条項の審査の中で確認(評価)させていただくため、認証組織様については2024年内から運用開始することを推奨いたします。

#### 【お問い合わせ】

ISO認証部 Email:cert-scheme.japan@intertek.com

#### ＊セミナー＊

本改正による運用、審査への影響に関する情報提供や、また、気候変動をマネジメントシステムに組み入れるために役立つセミナーも開催しております。詳細は弊社ホームページをご参照ください。

[https://ba.intertek-jpn.com/news/info-about-climate-change-online-seminar\\_20240531/](https://ba.intertek-jpn.com/news/info-about-climate-change-online-seminar_20240531/)